

海洋教育パイオニアスクールプログラム 成果報告書

1. 学校名 気仙沼市立大谷中学校

2. 活動テーマ名 「大谷ハチドリ計画」

3. 実践の概要・ねらい

(1) ふるさとの自然・環境・産業・文化・歴史等に触れさせる。課題解決の方法を工夫し、体験しながら解決する能力を育成する。

(2) 様々な交流や体験活動を通して人との出会いを大切にさせる。

(3) 様々な体験学習や問題解決学習に主体的、探究的に取り組むことにより、幅広い視野に立ち自己を見つめ生き方を考え、進路を主体的に選択する能力を育てる。

4. 実践計画

(1) テーマ・概要・活動計画, 教科等との関連

① 1年生「大谷の森」

- ・大谷の山や森について「自己課題」を設定し,主体的に情報を活用する方法を習得する。
- ・学び方を体験することで,基礎としての学習方法を身に付ける。
- ・他者を思いやる心を育てる。

② 2年生「大谷の海」

- ・大谷の海について「自己課題」を設定し,主体的に情報を活用する方法を習得する。
- ・課題の見つめ方や探り方に工夫を凝らし,学び方を自分のものにする。
- ・他者と協力して活動に取り組む力を育てる。

③ 3年生「ふゆみずたんぼ」

- ・ふゆみずたんぼについて「自己課題」を設定し,主体的に情報を活用する方法を習得する。
- ・学び方を深化・拡充するとともに,習得した学習内容を統合し,発信する能力を身に付ける。
- ・他者の生き方を尊重するとともに,地域社会の発展に貢献しようとする心を育てる。

④ 実践計画（総合的な学習の時間の計画のうち、ハチドリ計画に関わるものを抜粋）

	1年生	時数	2年生	時数	3年生	時数
4月	ハチドリオリエンテーション	1	ハチドリオリエンテーション	1		
5月	環境講話（大谷の森）	1			田作業（畦きり・畦塗り）	2
6月	田植え	2	田植え	2	田植え	2
	下草刈り（おかめ浜）	2	下草刈り（天ヶが沢）	2		
7月			環境講話（ウニ生態）	2	環境講話（こなぎ調理）	2
8月					田んぼ除草	
9月					田んぼ除草	
10月	・稲刈り	2	・稲刈り	2	・稲刈り	2
	・学年発表会	2	・学年発表会	2	・学年発表会	2
	・学習発表会	2	・学習発表会	2	・学習発表会	2
11月	収穫祭	2	収穫祭	2	・脱穀 ・収穫祭	2 2
12月						
1月						
2月			・ワカメ茎まき ・次年度冬水田んぼ オリエンテーション	2		
3月						

(2) 実践の評価について

- ・生徒の評価については、総合的な学習の時間の評価として校内の評価規準にもとづいて行う。

評価の観点	
情報収集能力	情報や資料を主体的に収集・選択する。
課題解決能力	多様化する社会を鋭く見定め、自分の興味・関心に基づいた課題を適切に見だし、解決する。
社会参画力	他者を思いやり、強調し、地域社会の発展に貢献しようとする。

5. 今年度の実践

(1) 計画からの追加・変更点

- ・代表生徒4名（2年生）が「海洋教育サミット in 気仙沼」に参加し、本校の実践を発表し、他校の実践内容を学ぶことができた。

(2) 実践の成果

- ・海岸でのゴミの調査やウニの解剖実習などを通して、身近にある海の課題と恵みの豊かさを改めて認識することができた。
- ・東日本大震災の後、地元の海が心理的に遠い存在となっていた生徒も多かったが、海洋教育の取組として海に触れることで、海に対して新たな思いを持つ生徒が多かった。
- ・海洋教育の取組を行うなかで、以前よりも他校の実践などに触れて学ぶ機会が増えた。代表として「海洋教育サミット in 気仙沼」に参加した生徒は、「他校がどんな学習をしているのか、知ることができた」と感想を述べていた。

(3) 次年度への課題

- ・海に関する学習は2年生を中心に行っているが、生徒数の減少もあり1・2年生が一緒に取り組むことで海とのつながりをもっと意識させ、より深められるような工夫が必要であると感じた。

6. 主な連携機関及び内容

- ・宮城県漁協大谷本吉支所：海岸でのウニ採取許可等の協力
- ・地元自治会など：松の下草刈りでの協力
- ・東北大学：講師派遣

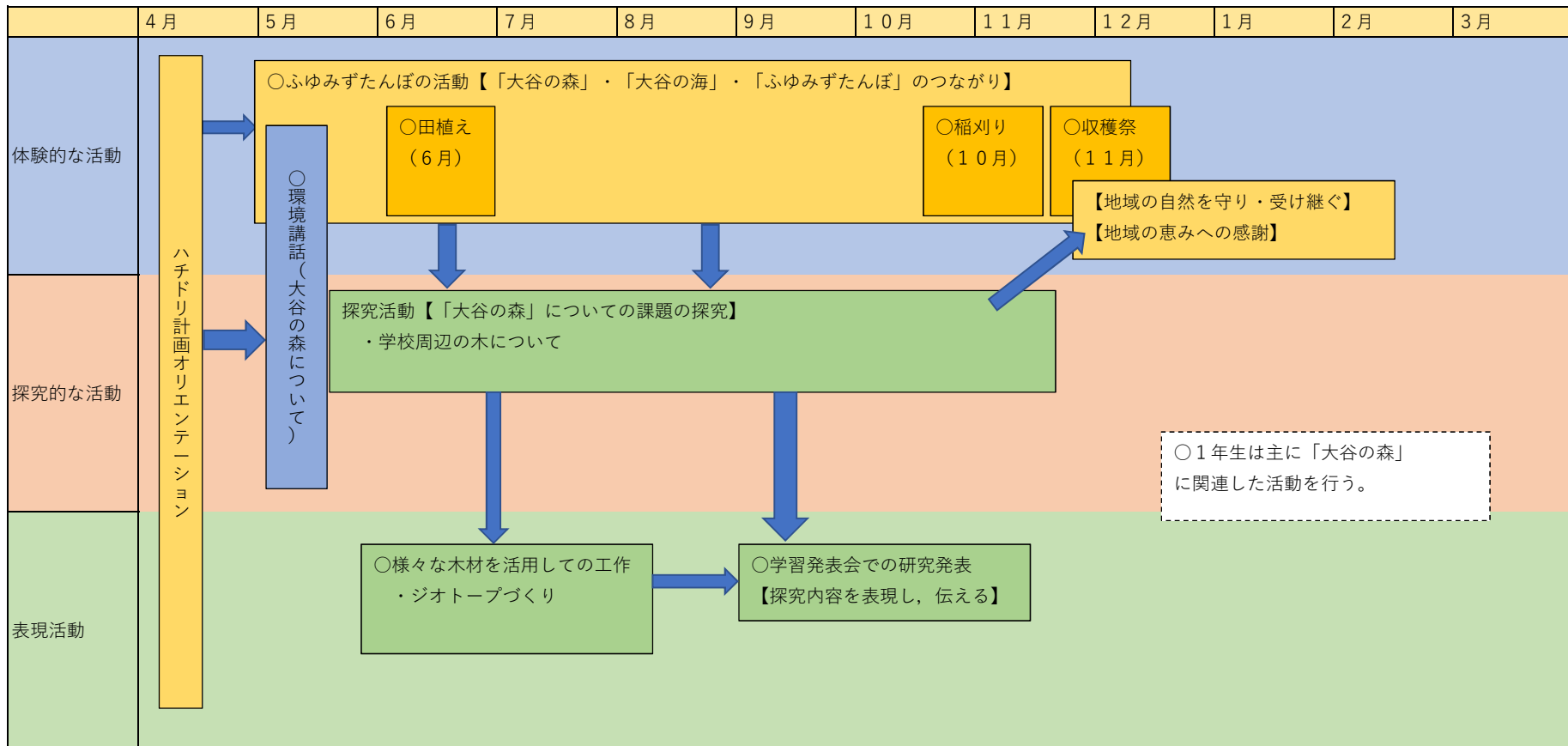
1年生「大谷ハチドリ計画（大谷の森）」

【実践のねらい】

- (1) ふるさとの自然・環境・産業・文化・歴史等に触れ、疑問を持ち解決方法を工夫し、体験しながら解決する能力を育成する。
- (2) 様々な交流や体験活動により人との出会いを大切に、社会を見つめ自己の将来を展望する心を育成する。
- (3) 様々な体験学習や問題解決学習に主体的、探究的に取り組むことにより、幅広い視野に立ち自己を見つめ生き方を考え、進路を主体的に選択する能力を育てる。

○時数 4月～2月

- 目標
- (1) 大谷の山や森についての「自己課題」を設定し、主体的に情報を活用する方法を習得する。
 - (2) 課題の見つめ方や探り方に工夫を凝らし、学び方を自分のものにする。
 - (3) 他者と協力して活動に取り組む力を育てる。



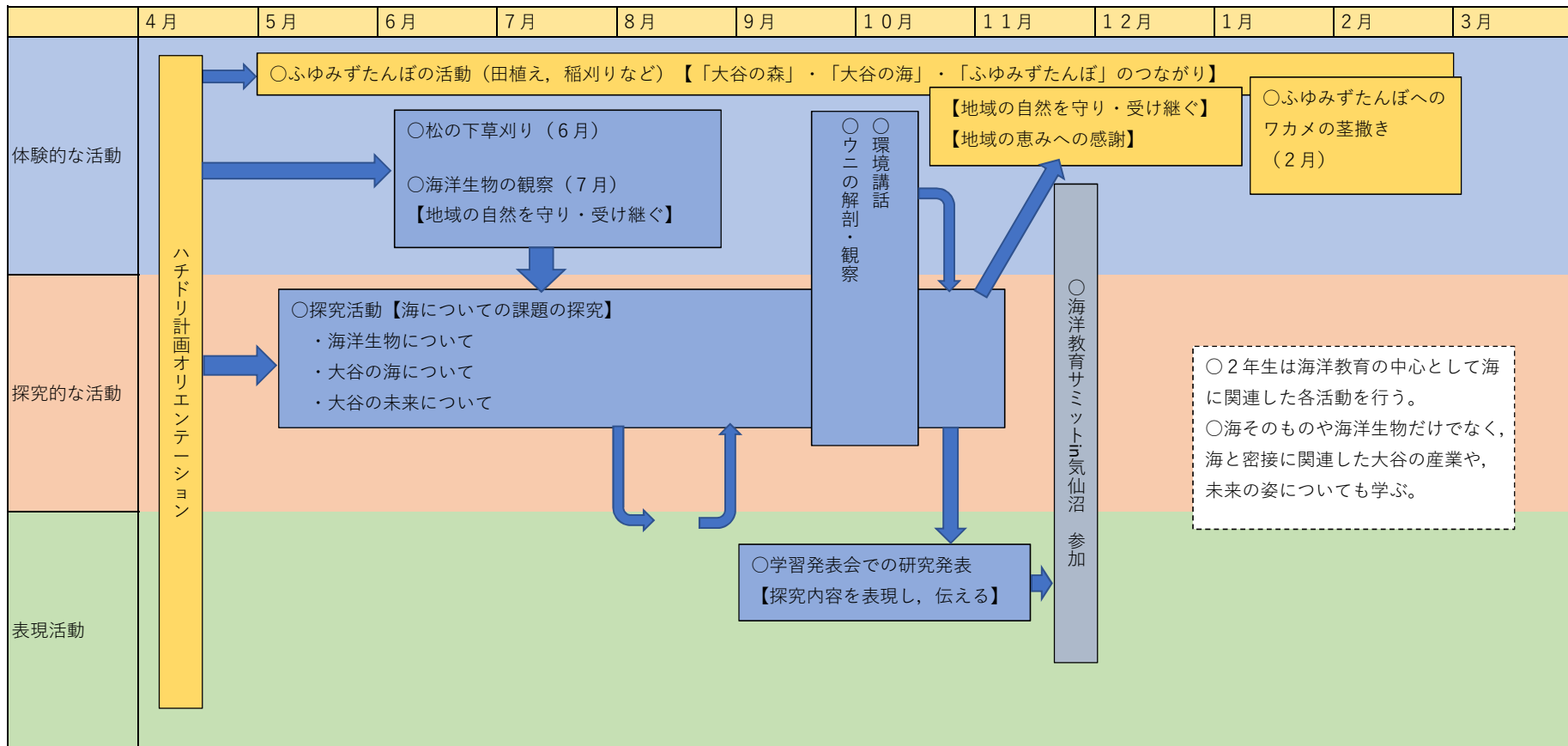
2年生「大谷ハチドリ計画（大谷の海）」

【実践のねらい】

- (1) ふるさとの自然・環境・産業・文化・歴史等に触れ、疑問を持ち解決方法を工夫し、体験しながら解決する能力を育成する。
- (2) 様々な交流や体験活動により人との出会いを大切にし、社会を見つめ自己の将来を展望する心を育成する。
- (3) 様々な体験学習や問題解決学習に主体的、探究的に取り組むことにより、幅広い視野に立ち自己を見つめ生き方を考え、進路を主体的に選択する能力を育てる。

○時数 4月～11月

- 目標
- (1) 大谷の海についての「自己課題」を設定し、主体的に情報を活用する方法を習得する。
 - (2) 課題の見つけ方や探り方に工夫を凝らし、学び方を自分のものにする。
 - (3) 他者と協力して活動に取り組む力を育てる。



3年生「大谷ハチドリ計画（ふゆみずたんぼ）」

【実践のねらい】

- (1) ふるさとの自然・環境・産業・文化・歴史等に触れ、疑問を持ち解決方法を工夫し、体験しながら解決する能力を育成する。
- (2) 様々な交流や体験活動により人との出会いを大切にし、社会を見つめ自己の将来を展望する心を育成する。
- (3) 様々な体験学習や問題解決学習に主体的、探究的に取り組むことにより、幅広い視野に立ち自己を見つめ生き方を考え、進路を主体的に選択する能力を育てる。

○時数 4月～2月

- 目標
- (1) ふゆみずたんぼについての「自己課題」を設定し、主体的に情報を活用する方法を習得する。
 - (2) 課題の見つめ方や探り方に工夫を凝らし、学び方を自分のものにする。
 - (3) 他者と協力して活動に取り組む力を育てる。

